

目次 Contents

- 2 年頭のごあいさつ
- 4 市制15周年特集
- 7 まちの話題
- 10 「市長のいきいきタウントーク」中止に
ともない寄せられたご意見
- 12 保健便り
- 15 環境トピックス
- 16 市県民税・所得税のお知らせ
- 17 確定申告のお知らせ
- 18 公的年金を受給されている方へ
- 19 市県民税の申告が始まります
- 21 障がい福祉瓦版
- 22 新・下野市風土記
- 23 生涯学習だより
- 24 農業委員会だより
- 25 レッツスポーツ
- 26 スクールゾーンをご存知ですか
- 28 図書館だより
- 30 国民年金だより
- 31 暮らしの情報
- 42 1月のカレンダー
- 43 キプロス通信 Vol.1
- 44 イベントカレンダー

今月の表紙

1月10日で市制施行15周年

今月の表紙は、平成18年1月10日生まれの、下野市と誕生日を同じくする中学生の皆さんです。

旧南河内町・石橋町・国分寺町の歴史や文化、伝統を受け継いで誕生した本市は、1月10日で市制施行15周年を迎えます(4・5ページに特集あり)。

夢と希望あふれる市の未来を次の世代に繋げる取り組みのひとつとして、下野市と同じ15歳の皆さんに記念号の表紙を飾っていただき、①下野市の好きなところ、②10年後のわたし、③10年後の下野市について伺いました。

金本大輝さん (石橋中学校、上の写真・右)

①医療や福祉が充実していて人が優しく、緑豊か
できれい ②社会に貢献できる大人になっていた
い ③栃木県一の大きなまちになってほしい

金本風花さん (石橋中学校、上の写真・左)

①自然が豊か ②夢はまだないけれど、きちんと
仕事についていたい ③もっと人口が増え、たく
さんの人がくる住みやすいまちになってほしい

鈴木英奈さん (国分寺中学校、下の写真)

①医療機関や育児支援が充実していて子育てがし
やすく、誕生から老後まで暮らしを支えてくれる
②社会人として自立し、下野市に住んでいたい
③地域や学校、家庭が寄り添った、あたたかい下
野市であってほしい

右下の15周年記念ロゴマークは、聖武天皇の詔
によって建立された下野国分寺の瓦をモチーフに、
歴史や文化を守り育てる、安全安心で魅力あふれ
るまちづくりを表現しています。

今月の何の日

1月11日 塩の日

1568(永禄11)年のこの日、「敵に塩を送る」と
いうことわざの語源となった出来事があったことに
由来しています。

1567(永禄10)年、甲斐の武田信玄が今川氏と
の同盟を破棄して今川領への進出を企てたところ、
怒った今川氏は武田領への塩の供給を断ちました。
海に面していない武田領の民が塩不足に苦しんで
いることを知った越後の上杉謙信は、長年、武田信玄

と敵対していたにも関わらず、民を苦難に追いやっ
てはならないと、越後の塩を甲斐の塩商人に販売す
るよう命じました。その塩が武田領・松本(現在の
長野県の松本市)に到着したのが1月11日で、その
後も長く塩市として祝われたそうです。

塩は、人が生きていくのに必要不可欠ではありま
すが、取り過ぎると高血圧等につながります。この
機会に摂取量を見直してみたいはいかがでしょうか。

■人口と世帯 (12月1日現在)

人口/60,175人 (-34)、男性/29,972人 (-24)、女性/30,203人 (-10)、世帯数/24,665世帯 (-4)

下野市公式
ツイッター

市ではホームページの最新情報や、災害発生時の避難場所などの
情報配信を行います。右の二次元コードからアクセスできます。
下野市公式アカウント @city_shimotsuke

